



管理者マニュアル

内容

1	動作環境	3
2	初期設定	3
2.1	導入するもの	3
2.2	プラグインのインストール	3
2.3	Google 認証機能の設定	4
3	起動方法	6
3.1	Docker を使用した起動方法	6
3.2	Vagrant を利用した起動方法	6
4	管理者機能	6

1 動作環境

OS : Windows7 以降、Ubuntu14.04 以降

macOS sierra10.12.3、iOS 10.2.1

外部に公開する場合には TCP : 80、40125 ポートを開ける必要があります。

2 初期設定

2.1 導入するもの

Node.js

<https://nodejs.org/ja/>

Docker

<https://www.docker.com/> (英語)

Vagrant (Docker が起動しない場合)

<https://www.vagrantup.com/>

2.2 プラグインのインストール

① “/vars/web/vars-server” 上で

\$ npm install

② “/vars/adminweb/admin-server” 上で

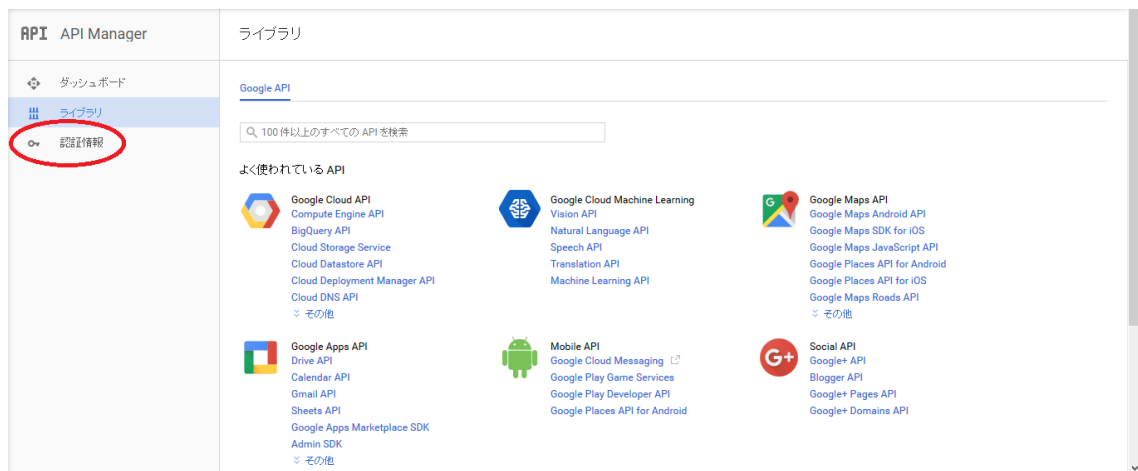
\$ npm install

2.3 Google 認証機能の設定

1. 管理者用の Google アカウントにログインして、GoogleAPI にアクセスします。

<https://console.developers.google.com>

2. 認証情報をクリックします。



3. プロジェクト作成を選択し、プロジェクト名を入力します



4. 「認証情報を作成」を選択し、「OAuth クライアント ID を作成」

を選択します。



5. 「OAuth クライアント ID を作成するには、まず同意画面でサービス名を設定する必要があります。」が表示された場合、システム名を入力します。



6. Web アプリケーションを選択し、名前 (任意)、リダイレクト URL (http://YOUR_ADDRESS/googlelogin/return) を入力する。
7. クライアント ID とクライアントシークレットが付与されるので、

/vars/web/vars-server/config/googlelogin.json

の callbackURL に先ほど設定したリダイレクト URL、clientID にクライアント ID、clientSecret にクライアントシークレットを記述する。

8. 設定完了です。

3 起動方法

3.1 Docker を使用した起動方法

Docker をインストール済みの状態で/vars/start.sh を CUI 上で起動します。(要インターネット回線)

3.2 Vagrant を利用した起動方法

1. Vagrant をインストール済みの状態で/vars/上で

\$ vagrant up

を CUI 上で起動します。(初期設定に 30 分ほどかかります)

2. **\$ vagrant ssh**

を起動して vagrant マシンにログインします。

3. start.sh を起動します。

4 管理者機能

管理者ページには http://YOUR_ADDRESS:40125 でアクセスできます。

初期設定では

アドレス:admin

パスワード:admin

でログインできます。